

外鎌山（とがまやま）

外鎌山と書いて、「とがやま」と読みます。この山には他（ほか）の名前もあります。どんな名前があるのでしょうか。調べてみましょう。



登山の入り口



外鎌山

この山は、登下校（とうげこう）のときにみえる人もいるかもしれません。また、頂上（ちようじょう）まで行ったことがある人もいるかもしれません。

この山の名前について調べてみると、いくつかの名前があることを知りました。

忍坂山、「おさかやま」と読みます。他（ほか）にも名前があります。万葉集（まんようしゅう）というずっと昔に作られた歌の中では「小倉山（おぐらやま）」という名前の山が歌によまれています。この「小倉山」という山は、外鎌山ではないかといわれています。

山の高さについても調べると、292mと分かりました。同じ桜井市にある三輪山（みわやま）の高さは467mなので、比べると小さいです。しかし、この山はとても大切な場所でした。5世紀（せいぎ）（約（やく）1500年～1600年前）に泊瀬朝倉宮（はつせあさくらのみや）という宮がありました。そのとき、宮を見わたすのに山に登（のぼ）り、役（やく）にたったのではないかといわれています。山から交通（こうつう）の様子（ようす）を見ていました。また、てきとのあそいに備（そな）えて準備（じゅんび）をするために見ることもあったといわれています。

登下校でよく見る山ですが、実際（じっさい）に山に登ってみると、約30分かかるといわれています。頂上に行くと、奈良（なら）ぼんち（まわりは山にかこまれ、中央（ちゅうおう）がたいらになっている土地）のようすがよくわかります。天気がいいと、三輪山や橿原市（かしはらし）の有名（ゆうめい）な大和三山（やまとさんざん）を見ることもできるかもしれません。

○山の場所を地図や「わたしたちの桜井市」でも確認（かくにん）してみよう。

○山から見える景色（けしき）はにどんな景色がみえるのかな。